

危険物取扱者 [乙種・性消(第5類危険物)・正誤(4)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第5類の危険物は水に溶けない。【 】
- (2) 第5類の危険物で固体のものは危険性を弱めるため乾燥した状態に保つ。【 】
- (3) 過酸化ベンゾイルは光によって分解が促進される。【 】
- (4) エチルメチルケトンパーオキシドに引火性はない。【 】
- (5) 過酢酸は有機物との接触により、爆発することがある。【 】
- (6) 硝酸エチルの沸点は100℃より低い。【 】
- (7) ニトログリセリンは20℃では凍結した固体である。【 】
- (8) ニトログリセリンは水よりも軽い。【 】
- (9) セルロイドは熱可塑性である。【 】
- (10) ピクリン酸はゆっくり加熱すると昇華する。【 】
- (11) ピクリン酸を取り扱う機器や設備は防爆型のものを用いる。【 】
- (12) ジニトロソペンタメチレンテトラミンはアセトンによく溶ける。【 】
- (13) アゾビスイソブチロニトリルは無臭である。【 】
- (14) ヒドロキシルアミンは潮解性がある。【 】
- (15) 硫酸ヒドロキシルアミンはエーテルによく溶ける。【 】

危険物取扱者 [乙種・性消(第5類危険物)・正誤(4)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第5類の危険物は水に溶けない。 【×】
水に溶けるものがある。
- (2) 第5類の危険物で固体のものは危険性を弱めるため乾燥した状態に保つ。 【×】
乾燥状態を保つものもあるが、含水状態で貯蔵するものもある。
- (3) 過酸化ベンゾイルは光によって分解が促進される。 【○】
光によって分解が促進される。
- (4) エチルメチルケトンパーオキシドに引火性はない。 【×】
引火性を有する。
- (5) 過酢酸は有機物との接触により、爆発することがある。 【○】
有機物との接触により爆発することがある。
- (6) 硝酸エチルの沸点は100℃より低い。 【○】
硝酸エチルの沸点は100℃より低い。
- (7) ニトログリセリンは20℃では凍結した固体である。 【×】
ニトログリセリンは8℃で凍結する。
- (8) ニトログリセリンは水よりも軽い。 【×】
比重は1.6で、水より重い。
- (9) セルロイドは熱可塑性である。 【○】
熱可塑性である。
- (10) ピクリン酸はゆっくり加熱すると昇華する。 【○】
ゆっくり加熱すると昇華する。
- (11) ピクリン酸を取り扱う機器や設備は防爆型のものを用いる。 【○】
防爆型のものを用いる。
- (12) ジニトロソペンタメチレンテトラミンはアセトンによく溶ける。 【×】
アセトンにわずかに溶ける。
- (13) アゾビスイソブチロニトリルは無臭である。 【×】
特異臭を有する。
- (14) ヒドロキシルアミンは潮解性がある。 【○】
潮解性がある。
- (15) 硫酸ヒドロキシルアミンはエーテルによく溶ける。 【×】
エーテルに溶けない。